

目 次

タイトル		学習漢字語				
第1課	自己紹介と性格描写	<u>紹介</u>	<u>描写</u>	<u>出身</u>	<u>他人</u>	<u>所属</u>
要点	1. 性格を描写する表現 2. 言葉に含まれる評価・態度 3. 漢字の造語力と重要度	<u>述べる</u>	<u>趣味</u>	<u>陽気</u>	<u>警戒心</u>	<u>消極的</u>
		<u>责任感</u>	<u>好奇心</u>	<u>競争心</u>	<u>評価</u>	<u>形容詞</u>
		<u>特徴</u>	<u>肯定的</u>	<u>否定的</u>	<u>積極的</u>	<u>陰気</u>
		▶ p. 1 ~ 13			20語	21字
【コラム1】 時を表す漢字		<u>昨日</u>	<u>往年</u>	<u>翌朝</u>	<u>中旬</u>	<u>昭和</u>
		▶ p.14			5字	
第2課	学生による授業評価	<u>授業</u>	<u>紛争</u>	<u>学期末</u>	<u>採点</u>	<u>改善</u>
要点	1. 教育関係の漢字・漢字語 2. 漢字熟語の品詞性と共起性 3. 対になる意味の言葉	<u>選択</u>	<u>判断</u>	<u>提供</u>	<u>権利</u>	<u>保証</u>
		<u>保護</u>	<u>実施</u>	<u>指導</u>	<u>材料</u>	<u>成績</u>
		<u>意欲</u>	<u>態度</u>	<u>甘い</u>	<u>恐れ</u>	<u>学級</u>
		▶ p.15 ~ 25			20語	21字
【コラム2】 漢字音の促音化		<u>刷新</u>	<u>札幌</u>	<u>冊子</u>	<u>筆記</u>	<u>喫茶</u>
		▶ p.26			5字	
第3課	新幹線と環境問題	<u>新幹線</u>	<u>環境</u>	<u>夢</u>	<u>技術</u>	<u>500系</u>
要点	1. 漢字熟語の品詞 2. 漢字熟語の共起性(1) 3. 類義語の意味と用法の違い	<u>現在</u>	<u>記録</u>	<u>騒音</u>	<u>沿線</u>	<u>地域</u>
		<u>与える</u>	<u>影響</u>	<u>対策</u>	<u>密集地</u>	<u>街頭</u>
		<u>目標</u>	<u>緩和</u>	<u>調査</u>	<u>状態</u>	<u>声</u>
		▶ p.27 ~ 38			20語	22字
第4課	低料金・高速ネット時代					
要点	1. コンピュータ・電気通信・インターネット関係の漢字・漢字語 2. 長い漢字熟語の構成(1)	<u>光</u>	<u>家庭</u>	<u>銅</u>	<u>捨てる</u>	<u>統合</u>
		<u>電話網</u>	<u>対称</u>	<u>選択肢</u>	<u>装置</u>	<u>配線盤</u>
		<u>公衆</u>	<u>相互</u>	<u>先駆け</u>	<u>需要</u>	<u>双方向</u>
		<u>端末</u>	<u>普及</u>	<u>衛星</u>	<u>検索</u>	<u>仮想</u>
		▶ p.39 ~ 50			20語	21字
第5課	航空機と携帯機器	<u>航空機</u>	<u>携帯</u>	<u>狂わす</u>	<u>着陸</u>	<u>制御</u>
要点	1. 機械類に使われる漢字・漢字語 2. 接尾辞の用法を持つ漢字 3. 長い漢字熟語の構成(2) 4. 形声文字の音符(1)	<u>搭乗</u>	<u>電磁波</u>	<u>状況</u>	<u>疑う</u>	<u>維持</u>
		<u>電卓</u>	<u>内蔵</u>	<u>姿勢</u>	<u>補正</u>	<u>振興</u>
		<u>程度</u>	<u>拾う</u>	<u>推論</u>	<u>犯人</u>	<u>探す</u>
		▶ p.51 ~ 64			20語	22字

タイトル		学習漢字語				
第6課	地震の心得十か条	地震	十か条	指摘	災害	命
要点	1. 災害に関する漢字の表現 2. 箇条書きの表現 3. 「倒れる」「壊れる」類の漢語動詞	転倒	戸	近寄る	避難	徒歩
		居住地	山崩れ	津波	倒壊	逃げる
		震源	余震	大規模	微震	耐震
		▶ p.65~76				
第7課	火山と温泉	温泉	一般	噴煙	昔	仲間
要点	1. 地形を表す漢字 2. 火山関係の漢字	偏る	分布	潜り込む	発散	海溝
		抜き	凹凸	最高峰	浸食	傾斜
		山脈	谷	氷河	池	溶岩
		▶ p.77~87				
【コラム3】日本の地名1		埼玉	奈良	宮城	横浜	静岡
		熊本	鹿児島	大阪	松江	9字
		▶ p.88				
第8課	景気とは何か	景気	抑制	利益	労働	賃金
要点	1. 反対の概念を表す経済関連語 2. 経済の変化・推移に関する漢字語 3. 漢字熟語の共起性(2)	控える	金融	鈍る	停滞	債権
		処理	空洞化	低迷	打破	～兆円
		日本版	為替	貿易	5億円	財政
		▶ p.89~103				
【コラム4】日本の地名2		羽田	沖縄	相模湾	加賀	草津
		香川	徳島			8字
		▶ p.104				
第9課	金融機関の果たす役割	貯蓄	差し引く	預ける	株式	
要点	1. 経済・金融の分野でよく使われる漢字 2. 金融の分野でよく使われる言葉 3. 特殊な読みの用語と略語 4. 形声文字の音符(2)	金庫	途中	供給	利息	契約
		顧客	巨額	損失	監督	種類
		調節	引き締め	貢献	信託	障害
		▶ p.105~118				
第10課	大名旅行	江戸	將軍	臣従	江戸城	
要点	1. 日本の時代区分 2. 江戸時代の職制 3. 同音の語彙	伺う	出迎え	屋敷	刀剣	忠誠心
		勢威	華美	幕府	武家	騎馬
		領国	藩主	～氏	許可	背く
		▶ p.119~135				
【コラム5】日本人の姓		鈴木	藤原	伊藤	吉田	清水
		山崎	大塚	三浦	大沢	9字
		▶ p.136				

□ 目次

タイトル		学習漢字語					
第11課	健康診断	<u>診断</u>	<u>疾病</u>	<u>診察</u>	<u>症状</u>	<u>接触</u>	
要点	1. 身体の部分を表す漢字 2. 病気や疾病を表す漢字 3. 医療関係の漢字・漢字語	<u>児童</u> <u>尿</u> <u>肝臓</u>	<u>妊婦</u> <u>血液</u> <u>脳波</u>	<u>乳幼児</u> <u>肺</u> <u>骨折</u>	<u>項目</u> <u>胃腸</u> <u>筋肉</u>	<u>聽力</u> <u>心臓</u> <u>腹痛</u>	
		p.137~150		<u>疾患</u>	<u>症候群</u>		22語 27字
第12課	エネルギーと栄養素	<u>栄養素</u>	<u>酸素</u>	<u>秒</u>	<u>糖質</u>	<u>炭水化物</u>	
要点	1. 化学・栄養学の漢字と熟語 2. 同じ漢字を使った類義語 3. 分野によって異なる反対語	<u>脂肪</u> <u>細菌</u> <u>乳化剤</u>	<u>穀物</u> <u>細胞</u> <u>砂糖</u>	<u>植物</u> <u>塩素</u> <u>纖維</u>	<u>含む</u> <u>窒素</u> <u>殺菌</u>	<u>吸收</u> <u>硫酸</u> <u>滅菌</u>	
		p.151~165		<u>抗菌</u>			21語 22字
【コラム 6】	日本人の名前	p.166	<u>太郎</u> <u>秀雄</u>	<u>和彦</u> <u>智子</u>	<u>博</u> <u>恵子</u>	<u>弘</u> <u>隆</u>	8字
第13課	気体の分子	<u>典型</u>	<u>結晶</u>	<u>粒子</u>	<u>膨張</u>	<u>逆</u>	
要点	1. 物質の名前を表す漢字 2. 数学で使われる漢字 3. 単位に使われる漢字	<u>凝固</u> <u>宇宙</u> <u>硫黄</u>	<u>平衡</u> <u>衝突</u> <u>角度</u>	<u>取り巻く</u> <u>水蒸気</u> <u>距離</u>	<u>ライフル</u> <u>亜鉛</u> <u>半径</u>	<u>弾丸</u> <u>零度</u> <u>底辺</u>	
		p.167~181					20語 23字
【コラム 7】	形の似た漢字	p.182	<u>季節</u> <u>黒板</u>	<u>猫</u> <u>坂道</u>	<u>創刊</u> <u>犬</u>	<u>遺体</u> <u>派遣</u>	8字
第14課	環境問題	<u>放射</u>	<u>循環</u>	<u>土壤</u>	<u>湿度</u>	<u>燃料</u>	
要点	1. 環境問題の語彙 2. 漢語と和語 3. 同じ漢字を使った熟語の使い分け	<u>乾燥</u> <u>一緒</u> <u>汚濁</u>	<u>懸念</u> <u>汚染</u> <u>繁殖</u>	<u>砂漠</u> <u>浄化</u> <u>連鎖</u>	<u>廃棄物</u> <u>排煙</u> <u>沈殿</u>	<u>有毒</u> <u>浮遊</u> <u>沈殿</u>	
		p.183~199					19語 23字
【コラム 8】	事件・事故の漢字	p.200	<u>事件</u> <u>逮捕</u>	<u>犯罪</u> <u>起訴</u>	<u>刑事</u> <u>追求</u>	<u>強盗</u> <u>捜査</u>	8字

タイトル		学習漢字語				
第15課 内閣の役目と議院内閣制						
要点	1. 漢字による複合語と省略形 2. 政治・法律に関する漢字・漢字語 3. 政治・法律関係の類義語 4. 漢字熟語の共起性(3)	内閣 法律 政党 委員会	司法 執行 連邦 選挙	裁判所 政令 補佐 官房	統括 天皇 兼ねる 審査	憲法 承認 閣僚 方針
		▶ p.201～216		20語 20字		
【コラム9】形声文字のまとめ		高齢 振幅	歳暮 攻撃	募集 儀式	請求 文章	迫力 9字
▶ p.217～218						

第16課 核兵器禁止条約		核兵器 等				
要点	1. 漢字語の語構成 2. 箇条書き文の形式 3. 「核」関係の漢字・漢字語	脅威 3年越し 軍隊 韓国	批准 北朝鮮 爆発 地雷	加盟国 舞台 伴う 交渉	削減 絶対 未臨界 分裂	掲げる 宣言 誓約 除外
		▶ p.219～233		21語 23字		

練習解答 ▶ p.235～264

学習漢字索引（課順） ▶ p.265～359

第1課～第16課

【コラム1～9】

音訓索引（BKB・IKB合わせて50音順） ▶ p.360～388

まえがき

本書は、1993年に凡人社から刊行した『Intermediate Kanji Book 漢字1000PLUS』Vol.1の続編であり、『Basic Kanji Book 基本漢字500』Vol.1に始まる、当漢字学習研究グループによる漢字教材シリーズの最終編に当たる。

1989年刊行の『Basic Kanji Book 基本漢字500』Vol.1、Vol.2は、発売当初より好評をもって迎えられたが、それは、それまでの主流だった文法や会話を中心とした主教材に準拠した形の漢字教材と異なり、独立したタイプの漢字教材としてその存在をアピールすることができたからだと思われる。また、同書が学習者の短期習得目標として、新聞等における使用頻度や表語文字としての漢字の特性、初級における用法別の使用状況などを考慮した「基本漢字」500字の選定を提案したこと、意味・用法・場面などによる漢字語彙のネットワーク作りのアプローチを行ったことなどは新しい試みであったといえよう。

その後十数年のうちに、初級の漢字教育は方法も教材も進化し、漢字の字形的構造性に着目したアプローチ、字源中心のアプローチ、場面中心のアプローチ、連想法や口唱法によるアプローチなど多種多様なものが登場した。しかし、中級以降の漢字教育に関しては、従来の読解に付随した語彙指導、漢字指導法から変わっていらないのが現状のように思われる。

そのような中で、『Intermediate Kanji Book 漢字1000PLUS』Vol.1、Vol.2では、以下のような方針をとり、新しいアプローチを試みている。この方針は、一貫して本漢字教材シリーズで採用しているものである。

学習指導の方針

- (1)漢字学習を語彙学習としてとらえ、漢字語彙の拡充を目指す
- (2)読み書きだけでなく、文中での用法や使用場面などを含めて練習するための様々な練習活動の形式を提供する
- (3)読解、作文、口頭のコミュニケーションなど、他の活動と関連づけた総合的な学習を奨励する
- (4)漢字および漢字語彙の学習に役立つ情報（音符や語構成の知識、類義語の用法に関する注意点など）を学習項目として整理して提示する
- (5)学習者の文化圏、興味の対象、学習スタイルなどに応じた自律的学習を促進する（非漢字圏学習者にも漢字圏学習者にも、また、授業用としても自習用としても使用可能な教材を目指す）

本シリーズの方針は以上のようなものであるが、初級と中級とではおのずと重点に違いが出てくる。初級用の『Basic Kanji Book』では漢字一字一字の積み上げをかなり

重視しているが、中級用の『Intermediate Kanji Book』ではより自由度の高い語彙の拡充の方に狙いを定めている。しかし、様々な種類の練習や課題を通じて、総合的に漢字語彙のネットワーク作りをさせようとしている点は両者に共通するものである。

漢字および漢字語彙学習のプロセス

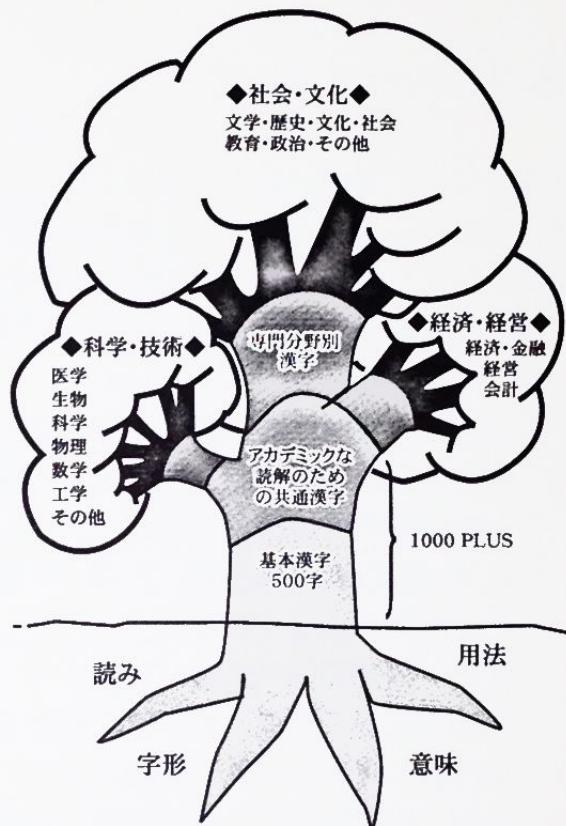
本シリーズで想定している外国人学習者による漢字および漢字語彙学習のプロセスは、おおよそ次のような樹木図で表すことができる。

この木の根の部分は、初級段階の漢字および漢字語の学習であり、日本語における漢字の特性（字形・意味・読み・用法）に関する基礎的な理解が必要な段階である。当グループでは、そのために必要な漢字を「基本漢字」と呼び、『Basic Kanji Book』で500字を選定した。

非漢字圏学習者にとっては、この部分の積み上げが、その後の効率的な漢字学習および語彙学習を支える重要な部分になると考えられる。漢字圏の学習者にとっては、字形や意味の理解はやさしいと思われるが、日本語として読みを正確に覚えること、母語における漢字の意味・用法とのずれを認識すること、文中での用法を正しく身につけることなどについては十分顧慮されなければならないだろう。

中級段階に進み、新聞記事や論説文などを読むようになると、書き言葉に特有の漢字語彙の学習が必要になる。本シリーズでは、そのような漢字の中でも異なる専門分野の語彙にある程度共通して使われる漢字を「読解のための共通漢字」と呼んでいる。『Intermediate Kanji Book』Vol.1では、そのうち240字の学習漢字を提示した。同書では、さらにこれらとともに熟語を構成する漢字（学習漢字以外のもの）を含めて、1000字相当の漢字運用力（日本語能力試験2級程度）を目標として想定している。

さて、『Intermediate Kanji Book』Vol.2であるが、本書では、学習者が自分の専門分野や興味の対象に応じて、さらに漢字語彙力を伸ばしていくように、専門分野別に「アカデミックな読解のための共通漢字」を拡張する試みを行っている。本課（1課～16課）で提示している学習漢字が358字、コラム（1～9）で紹介している69字と合わせ、合計427字を本書の学習漢字とした。すなわち、本シリーズ全体では、合計1,167字を「中級漢字1000PLUS」としていることになる。しかしこれは、中級学習者



□ まえがき

にとって必要な漢字を限定しようとするものではない。どの漢字を学ぶかは、あくまでも学習者自身が専門分野やニーズの違いによって決めるものであり、ここに提示している漢字はそのサンプルに過ぎない。

さらに、上級段階に進み、専門性の高い文献などを読むようになると、それぞれの専門分野で使用頻度の高い「専門分野別漢字」に至るというプロセスが想定できるが、そのような専門性の高い漢字語彙の習得は、学習者一人一人が専門分野の教師の下で達成するべきものであり、もはや日本語のクラスの中では扱えない領域であるといえよう。

本書の内容について

本書では、専門分野を以下のように分け、「アカデミックな読解のための共通漢字」の選出を行った。ここでは、専門分野別漢字に入る前の段階、新聞記事や教養書のレベルを想定しているため、大ざっぱな分け方になっているが、ある程度は学習者のニーズに応えられるものになっているのではないかと思う。

- 心理・教育関係の語彙（1課、2課）
- 科学・技術関係の語彙（3課、4課、5課）
- 地球科学関係の語彙（6課、7課）
- 経済・金融関係の語彙（8課、9課）
- 歴史関係の語彙（10課）
- 健康・医学関係の語彙（11課）
- 栄養・化学・物理・数学関係の語彙（12課、13課）
- 環境科学関係の語彙（14課）
- 政治・国際関係の語彙（15課、16課）

ここでは学習漢字を語彙単位で選出しているため、それ自体は使用頻度の高くない漢字も一部学習漢字の中に入っていることをお断りしておく。

本書の編集方針、漢字および漢字語彙の選定、学習内容やその配列などに関しては、漢字学習研究グループの6人が話し合い、検討して決めた。各課の原案の大部分は、1995年4月から筑波大学留学生センター補講コースの漢字の授業において、実際に教材として使用されている。したがって、本書には、その教材を使って学習した多くの留学生たちの意見、批評、助言などが大きく反映されている。

学習漢字索引にある手書き文字については、つくば市在住の書家、篠崎けいさん、イラストについては西村恵利子さんに書いていただいた。また、凡人社編集部の足立章子さんには、編集のみならず、内容に関するここまで含め、大変お世話になった。これらの方々のご協力に心から感謝申し上げたい。しかし、本書の内容に関する責任

は、当然のことながら、すべて著者らにある。大方のご教示をお願いしたいと思う。

本書の各課の担当者は以下の通りである。ただし、内容や練習問題の妥当性などに関しては、分担して複数で検討した。練習および課題の解答、各課とコラムの学習漢字索引に関しても、全員で検討を行っている。

加納 千恵子	2課、3課、4課、コラム2、9
平形(高橋)裕紀子	5課、6課、9課、13課、コラム7
清水 百合	10課、14課、コラム1、5、6
竹中(谷部)弘子	8課、12課、16課、コラム8
石井 恵理子	1課、15課、コラム3、4
阿久津 智	7課、11課

今後、できるだけ多くの方々に本書を使っていただき、ご意見、ご批評などを仰ぎたいと考えている。

2001年8月

漢字学習研究グループ

加納千恵子（筑波大学留学生センター）	平形(高橋)裕紀子（筑波大学留学生センター）
清水 百合（九州大学留学生センター）	竹中(谷部)弘子（東京学芸大学留学生センター）
石井 恵理子（国立国語研究所）	阿久津 智（拓殖大学外国語学部）

第3版の出版にあたって

この度、第3版の出版に当たって、古くなった新聞記事等を差し替えるなどの案もあったが、結局あえて差し替えはしないことにした。いくら差し替てもすぐに情報は古くなってしまうからである。したがって、テキストに載せてある記事や課題は、あくまでも教材のサンプルとして見ていただき、先生方や学習者には、常にインターネットや新聞などから最新の情報を使って生きた日本語を教えたり、学習したりするための参考にしてほしいと願っている。

なお、第3版における修正箇所は必要最小限にとどめたが、修正した語句や説明、練習問題などについて知りたいというご希望があれば、凡人社編集部あるいは著者代表（加納：kanochie@intersc.tsukuba.ac.jp）までお問い合わせください。

2008年3月

著者一同

使 い 方

本書の構成

本書には、本課が16課とコラムが9つあります。各課の学習項目（要点）と、学習漢字語については、目次にまとめてあります。巻末には、各課の練習と課題の解答（ただし、オープンエンドな課題達成型のものには付けてありません）、課ごとの学習漢字索引、『Basic Kanji Book』 Vol.1、Vol.2と『Intermediate Kanji Book』 Vol.1、Vol.2を通した音訓索引があります。

本書は、1課から順に学習していくこともできますが、興味のある分野の課を集中的に使ったり、興味のない分野を飛ばして使ったり、授業時間に合わせていくつかの課だけをピックアップして使ったりすることもできます。

使用例1：1学期 1課～5課（心理・教育、科学・技術関係）

2学期 6課～10課（地球科学、経済・金融、歴史関係）

3学期 11課～15課（健康・医学、基礎科学、環境、政治関係）

使用例2：1学期 1課、3課、6課、8課、10課

2学期 2課、4課、7課、9課、11課

3学期 5課、12課、14課、15課、16課

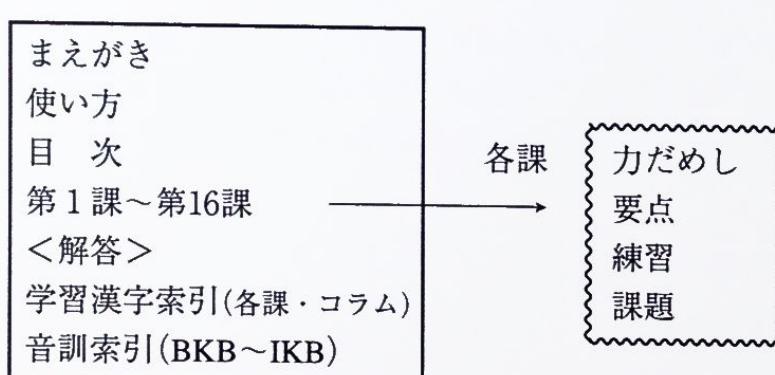
使用例3：1学期 1課、3課、5課、6課、8課、11課、13課、15課

2学期 2課、4課、7課、9課、10課、12課、14課、16課

筑波大学留学生センターの補講コースでは、各学期に週1回の漢字クラスが10回（10週）あるので、毎学期4つの課とコラムを適当にピックアップし、年間3学期でほぼ1冊を終わるようなペースで使ってています。

本書の構成は次のようになっています。

『Intermediate Kanji Book 漢字1000PLUS』 Vol.2



コラム1～9は、本課の間にあります。

各セクションの使い方

本書の各課は、「力だめし」「要点」「練習」「課題」という4つのセクションに分かれています。

力だめし /

学習者は、まずここにある読み物を読んでみて、全体の意味がどの程度わかるか、読めると思っている漢字の読みがどの程度正確か、などの点について各自でチェックしてから、各課の学習に入ることになります。本書で想定している学習者は、本文全体の漢字語のうち70%～80%が読めると思い、実際に正確に読めた漢字語がその70%～80%というようなレベルの人です。

◆先生方へ：本書を授業で使う場合、このセクションは、予習としてやらせてきたり、前の課のクイズ（小テスト）を行っているときに、早く終わった者からやらせるというような扱い方ができます。コースの最初の授業では、全員でやってみてもいいと思います。なお、学生には、使われている漢字が初級レベルのやさしい字であっても、語彙としては中上級レベルの場合もあるということを認識させてください。また、漢字圏の学生には、漢字から言葉の意味が推測できたとしても、正確な読みや用法を知らなければいけないという点に注意させてください。

要点

新しい漢字語彙を覚えるのに役立つ情報や、漢字を整理して記憶するのに有効な知識などがまとめてあります。本書では、説明はすべて日本語で行っていますが、原則として、まだ習っていない漢字を使った言葉や特殊な読みの言葉にはふりがながつけてあります。分からぬ表現があった場合には、自分で辞書を調べたり、人に聞いたりして勉強してください。

◆先生方へ：本書を授業で使う場合、「要点」は家で読んでこさせるようにし、クラスでは、わかりにくいところに関して質問を受けるというやり方になるとよいでしょう。専門用語の使い方などについては、クラスにその専門の学生がいるかどうかを確認し、もしいた場合には、その学生に調べてくるように課題を出すと、当人にとって日本語を運用するいい機会になります。



練習 /

「力だめし」でウォーミングアップが、「要点」で基本的な学習項目と学習漢字の確認がすんだところで、漢字語の読み練習、書き練習、用法練習などを行うセクションです。課によって問題の形式が異なる場合もあります。応用力がついたかどうかを

□ 使い方

みるための発展的な問題もあります。

学習者は、<解答>で自分の答えをチェックした後、問題の全文をノートに書き写すといいでしよう。そのノートを見て、読み練習→書き練習、書き練習→読み練習というように形を変えてもう一度練習すると、さらに力がつきます。（くわしくは『IKB』Vol.1の「練習の使い方」を参照してください。）

◆先生方へ：学生が「練習」を家でやってきているようなら、クラスではざっと答え合わせをした後、応用練習をさせたり、習った漢字語を使って口頭で短文作りをさせたりしてみてください。なお、各課の復習クイズ（小テスト）は、「練習」と「学習漢字索引」から出すというふうに範囲を限ったほうが教育効果が期待できるようです。



このセクションは、その課で学習したことを発展させた形で応用練習するところです。ここにある問題の中には、<解答>のないものもありますが、自分で辞書を引いたり、周りの日本人の助けを借りたりして、挑戦してみてください。この後、身近にある関連分野の文章が読めるようになれば、運用力が伸びたと言えるでしょう。

◆先生方へ：このセクションを宿題とすることもできますが、かなり古くなっている新聞記事も多いため、新聞やインターネット等で最新の情報を探して課題とすることをお勧めします。Googleなどで、その課のキーワードとなる漢字語をいくつか入れて検索すると、いろいろな面白い記事を探すことができます。学生自身に探させて、クラスで内容を発表させたり、課題を作らせたりすることもできます。学生同士で探してきたオーセンティックなものは、他の学生の興味を引くことが多く、学生が自分自身の学習方法などについて考えるいい機会を提供するようです。日本人の友達と共同で作業をさせるような指示を出すと、日本語によるコミュニケーションのチャンスも増え、達成感が得られると思われます。



新聞などで使用頻度の高い漢字の中から、人名や地名にしか使われないものや、本書の1課から16課に入れ込めなかった分野のものの一部をコラムという形で9つにまとめ、紹介しています。

◆先生方へ：このセクションは、本課をやりながら余った時間などをを利用して読ませるのに適しています。授業で本格的に使う場合には、練習の量が少ないと思われますので、本課の練習形式を参考に練習問題を追加してください。

< 解 答 >

本課の「練習」の問題、「課題」の問題（サンプル解答が示せる問題のみ）、コラム

の「練習」の答えが示してありますが、それ以外の考え方でもよい場合がありますから、身近にいる日本人に聞いて確かめてみましょう。

◆先生方へ：参考としていただくためのサンプル解答が示してあります。学生の答案を見て、それでもよいかどうか、先生方のご判断で学生にフィードバックしていただければと思います。

学習漢字索引

ここには、各課の学習漢字について以下のような情報が示されています。

描		1 課	11画	ビヨウ えが-く	苗【ビヨウ】 → 苗 描 猫 depict
----------	--	-----	-----	-------------	--------------------------

情景を見たままに描写する。

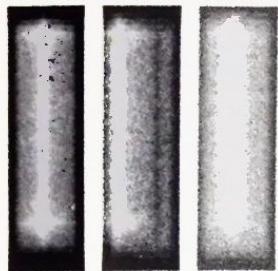
点描とは多数の色の点で絵を描く技法である。

～ヲ描く(えがく) 素描(そびょう) 点描(てんぴょう)

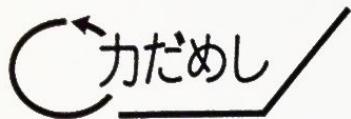
～ヲ描写(びょうしや)スル 点描画(てんぴょうが) 心理描写(しんりびょうしや)

左上の枠に入っている大きな活字は、「明朝体」と呼ばれるもので、字によっては、手書きの文字の形と違う場合があります。その右の枠には、手書きの文字が書いてありますから、書く練習をする際のお手本にしてください。その隣の枠には、4つの情報、左上が課数、右上が漢字の画数、左下に日本語能力試験の級数、右下に「常用漢字」か「教育漢字」か「常用外」かという情報が入っています。一番右の枠には、上の行にカタカナで漢字の音読み、下の行にはひらがなで漢字の訓読みが書いてあり、例外的な読みには「*」印がつけてあります。また、常用漢字表にないものは〔 〕に入れてあります。形声文字の場合は、音読みの後ろに、ゴチック体で音符と【その表す音】、そして「→」の先に同じ音符を持つ同音漢字のリストが並べてあります。訓読みの後ろに英語で漢字の意味が示してありますが、下に並んでいる熟語例の意味を類推しやすいように、その字の中心的な意味を抽出したものです。漢字語の前に「～ヲ」や「～ニ」と書いてあるのはその動詞がとる助詞で、「～ガ」をとる場合は書いてありません。後ろに「スル」と書いてあるのは「する」をつけて動詞として使う用法のあるもの、「ナ」と書いてあるのは、ナ形容詞の用法のあるものです。() 内には読みが示してありますから、個々の言葉のくわしい意味や用法が知りたい場合は、辞書を引いてください。

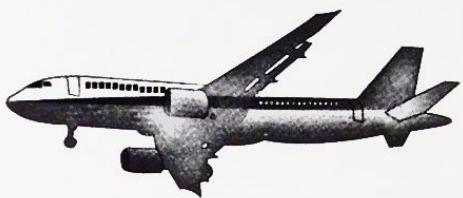
本書で使われている記号類は、原則として『Intermediate Kanji Book』 Vol.1と同じになっています。



第5課 航空機と携帯機器



下の文章を読んでみましょう。



航空機の機器を狂わす原因は?

離着陸時に旅客機が制御不能になるような異常を引き起こす恐れがあるとして、搭乗中に使用が禁止されている電子機器は約20。いずれも電磁波が旅客機に異常をもたらすためとされる。下の表は、乗客の電子機器が原因の可能性がある旅客機の異常例で、発生の状況と不具合の内容、疑わしいとされる携帯電子機器をあげてある。不具合の内容には、高度維持装置の変化や飛行管理装置の不具合などがある。こうしたことから、最近では、人気のゲーム機器や電卓内蔵ゲームなども、離着陸時使用禁止のリストに加えられた。

5

乗客の電子機器が原因の可能性のある異常例 (93年以降、国内)			
発生日	状況	不具合の内容	疑わしい携帯電子機器
93年 4月	巡航中	高度維持装置の変化	ゲーム機器
4月	上昇中	飛行管理装置に入力したデータに不具合	CDプレーヤー
94年 7月	巡航中	飛行管理装置に不具合	電卓内蔵ゲームかゲーム機器
96年 5月	離陸滑走中	飛行モード表示に不具合	携帯電話
7月	巡航中	無線に雑音	パソコン
8月	地上駐機中	油圧システムの不具合の表示	デジタルカメラ
9月	巡航中	無線に雑音が断続的に混入	携帯電話
97年 2月	巡航中	姿勢補正システムの一部に異常	CDプレーヤー
2月	巡航中	集中警報システムに警報が複数表示	CDプレーヤー

しかし、航空振興財団の研究が進むにつれ、乗客が持ち込む電子機器だけでなく、もともと機内にある照明などの電気機器や、機内の静電気が異常の原因になるとの見方も出てきた。旅客機、例えばジャンボ機には無線通信用や電波航法装置用など20本程度のアンテナがついており、不要な電磁波を拾う可能性も高い。乗客の電子機器が旅客機に与える影響がどれほどかについては、推論の域を出ないため、さらに調査を進める必要がある。

旅客機に異常をもたらす真犯人を探す研究は始まったばかりだが、航空会社は、乗客の利便よりも安全性を重視する姿勢をとっている。

(「日本経済新聞」1997年5月18日の朝刊記事を元に作成。p.62~63の「課題」に記事の全文がある。)

【問題】 前の文中に使われていた言葉です。読んでみましょう。読み方がわからないものには、○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|----------|
| 1. 航空機 | 2. 携帯 | 3. 機器 | 4. 狂わす | 5. 原因 |
| 6. 離着陸時 | 7. 旅客機 | 8. 制御 | 9. 不能 | 10. 異常 |
| 11. 引き起こす | 12. 恐れ | 13. 搭乗中 | 14. 使用 | 15. 禁止 |
| 16. 電子機器 | 17. 電磁波 | 18. 表 | 19. 乗客 | 20. 可能性 |
| 21. 異常例 | 22. 状況 | 23. 不具合 | 24. 内容 | 25. 疑わしい |
| 26. 維持 | 27. 装置 | 28. 管理 | 29. 最近 | 30. 人気 |
| 31. 電卓 | 32. 内蔵 | 33. 巡航中 | 34. 上昇中 | 35. 滑走中 |
| 36. 駐機中 | 37. 油圧 | 38. 断続的 | 39. 混入 | 40. 姿勢 |
| 41. 補正 | 42. 集中 | 43. 警報 | 44. 複数 | 45. 振興 |
| 46. 財団 | 47. 持ち込む | 48. 照明 | 49. 静電気 | 50. 見方 |
| 51. 例えば | 52. 無線 | 53. 通信用 | 54. 電波 | 55. 航法 |
| 56. 程度 | 57. 不要 | 58. 捨う | 59. 与える | 60. 影響 |
| 61. 推論 | 62. 域 | 63. 調査 | 64. 必要 | 65. 真犯人 |
| 66. 探す | 67. 利便 | 68. 安全性 | 69. 重視 | |

次のページの【確認】のところを見て、読みをチェックしましょう。

	I.BKB	II.IKB	III.前課	IV.本課	全体
a. 読みを正しく知っている言葉	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
b. 意味は知っているが、読みが不正確な言葉	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %
c. よく知らない言葉	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %	_____ %

- I. の言葉があまり読めなかった人は、BKB Vol.1&2を復習しましょう。
- II. の言葉があまり読めなかった人は、IKB Vol.1を復習しましょう。
- III. の言葉が読めなかった人は、この本の前の課を復習しましょう。
- IV. の言葉が読めなかった人は、この課でしっかり勉強しましょう。
- IV. の言葉がよく読めた人も、その漢字の別の読み方や使い方などを勉強しましょう。

【確認】 正しく読めたら、□にチェックしましょう。

I. 『BASIC KANJI BOOK』 Vol.1 & 2の漢字を使った言葉です。

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------------|---------|--------------------------|----------|--------------------------|---------|--------------------------|---------|--------------------------|
| 1. 機器 | <input type="checkbox"/> | 2. 旅客機 | <input type="checkbox"/> | 3. 引き起こす | <input type="checkbox"/> | 4. 使用 | <input type="checkbox"/> | 5. 電子機器 | <input type="checkbox"/> |
| 6. 表 | <input type="checkbox"/> | 7. 乗客 | <input type="checkbox"/> | 8. 不具合 | <input type="checkbox"/> | 9. 最近 | <input type="checkbox"/> | 10. 人気 | <input type="checkbox"/> |
| 11. 集中 | <input type="checkbox"/> | 12. 静電気 | <input type="checkbox"/> | 13. 見方 | <input type="checkbox"/> | 14. 無線 | <input type="checkbox"/> | 15. 通信用 | <input type="checkbox"/> |
| 16. 不要 | <input type="checkbox"/> | 17. 必要 | <input type="checkbox"/> | 18. 利便 | <input type="checkbox"/> | 19. 安全性 | <input type="checkbox"/> | | ____ / 19 = ____ % |

II. 『INTERMEDIATE KANJI BOOK』 Vol.1の漢字を使った言葉です。

- | | | | | | | | | | |
|---------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|----------|--------------------------|
| 1. 原因 | <input type="checkbox"/> | 2. 不能 | <input type="checkbox"/> | 3. 異常 | <input type="checkbox"/> | 4. 禁止 | <input type="checkbox"/> | 5. 可能性 | <input type="checkbox"/> |
| L10 | | L2 | | L4 L4 | | L7 | | L2 L2 | |
| 6. 異常例 | <input type="checkbox"/> | 7. 内容 | <input type="checkbox"/> | 8. 管理 | <input type="checkbox"/> | 9. 上昇中 | <input type="checkbox"/> | 10. 油圧 | <input type="checkbox"/> |
| L10 | | R2 | | L5 | | L2 | | L2 | |
| 11. 断続的 | <input type="checkbox"/> | 12. 混入 | <input type="checkbox"/> | 13. 複数 | <input type="checkbox"/> | 14. 照明 | <input type="checkbox"/> | 15. 例えれば | <input type="checkbox"/> |
| L3 | | L9 | | L2 | | L10 | | L10 | |
| 16. 重視 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | ____ / 16 = ____ % |
| | L7 | | | | | | | | |

5

III. 前の課で勉強した言葉です。

- | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|--------|--------------------------|-------|--------------------------|
| 1. 恐れ | <input type="checkbox"/> | 2. 装置 | <input type="checkbox"/> | 3. 警報 | <input type="checkbox"/> | 4. 与える | <input type="checkbox"/> | 5. 影響 | <input type="checkbox"/> |
| 2課 | | 4課 | | 1課 | | 3課 | | 3課3課 | |
| 6. 域 | <input type="checkbox"/> | 7. 調査 | <input type="checkbox"/> | | | | | | ____ / 7 = ____ % |
| 3課 | | 3課 | | | | | | | |

IV. この課で勉強する言葉です。

- | | | | | | | | | | |
|---------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|---------|--------------------------|--------|--------------------------|
| 1. 航空機 | <input type="checkbox"/> | 2. 携帯 | <input type="checkbox"/> | 3. 狂わす | <input type="checkbox"/> | 4. 離着陸時 | <input type="checkbox"/> | 5. 制御 | <input type="checkbox"/> |
| 6. 搭乗中 | <input type="checkbox"/> | 7. 電磁波 | <input type="checkbox"/> | 8. 状況 | <input type="checkbox"/> | 9. 疑わしい | <input type="checkbox"/> | 10. 維持 | <input type="checkbox"/> |
| 11. 電卓 | <input type="checkbox"/> | 12. 内蔵 | <input type="checkbox"/> | 13. 姿勢 | <input type="checkbox"/> | 14. 補正 | <input type="checkbox"/> | 15. 振興 | <input type="checkbox"/> |
| 16. 電波 | <input type="checkbox"/> | 17. 航法 | <input type="checkbox"/> | 18. 程度 | <input type="checkbox"/> | 19. 拾う | <input type="checkbox"/> | 20. 推論 | <input type="checkbox"/> |
| 21. 真犯人 | <input type="checkbox"/> | 22. 探す | <input type="checkbox"/> | | | | | | ____ / 22 = ____ % |

V. ここでは勉強しませんが、後でおぼえましょう。

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|-------|--------------------------|---------|--------------------------|
| 1. 巡航中 | <input type="checkbox"/> | 2. 滑走中 | <input type="checkbox"/> | 3. 駐機中 | <input type="checkbox"/> | 4. 財団 | <input type="checkbox"/> | 5. 持ち込む | <input type="checkbox"/> |
|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|-------|--------------------------|---------|--------------------------|

要点

①機械類に使われる漢字および漢字語

色々な機械や機器の名前、仕組み、使い方などについて、よく使われる漢字や漢字語には、次のようなものがあります。

A. 機械類

機～：	機械	機器	機材	機関
～機：	航空機	旅客機	探査機	探知機 計算機
器～：	器械	器具	器材	
～器：	計器	測定器	炊飯器	
～機器：	電子機器	携帯機器	教育機器	ゲーム機器
～機関：	動力機関	蒸気機関	内燃機関	交通機関
～装置：	通信装置	着陸装置	制御装置	維持装置 警報装置

B. 部品・材料

部～：	部品	部分	
～部：	前部	後部	中心部 動力部
材～：	材料	材質	
～材：	機材	建材	素材
材料の種類：	木材	金属	プラスチック ガラス 繊維

C. 機械類を動かすときの漢語動詞

運転する	(自動車を～／バスを～／⋯⋯⋯)
制御する	(機械を～／通信を～／⋯⋯⋯)
操縦する	(航空機を～／ヘリコプターを～／ロボットを～／⋯⋯⋯)
操作する	(機械を～／ロボットを～／⋯⋯⋯)

D. 機械類の大きさ・仕組みなど

～型：	大型	小型	中型
	卓上型／デスクトップ型		ノート型
	内蔵型	外付け型	
～タイプ：	軽量タイプ 携帯用タイプ		

E. その他

②接尾辞の用法を持つ漢字 ■■+■

漢字熟語の後ろに接尾辞となる漢字1字がつくと、新しい熟語ができます。(IKB Vol.1 L6参照) 接尾辞の種類によってアクセントが変わりますから、注意しましょう。

A. アクセントが平板になるタイプ

- 巡航 (じゅんこう) + 中 → 巡航中 (じゅんこうちゅう)
- 携帯 (けいたい) + 用 → 携帶用 (けいたいよう)
- 断続 (だんぞく) + 的 → 断続的 (だんぞくてき)
- 安全 (あんぜん) + 性 → 安全性 (あんぜんせい)
- 電波 (でんぱ) + 法 → 電波法 (でんぱほう)

B. 接尾辞の前でアクセントが低くなるタイプ

- 航空 (こうくう) + 機 → 航空機 (こうくうき)
- 着陸 (ちゃくりく) + 時 → 着陸時 (ちゃくりくじ)
- 関係 (かんけい) + 者 → 関係者 (かんけいしゃ)
- 電磁 (でんじ) + 波 → 電磁波 (でんじは)
- 計器 (けいき) + 類 → 計器類 (けいきるい)

C. 接尾辞の用例

アクセントに注意して、読んでみましょう。

～中：巡航中	～用：通信用	～的：断續的	～性：可能性	～法：航空法
搭乗中	携帶用	集中的	安全性	電波法
滑走中	建築用	一時的	快適性	国際法
飛行中	無線用	科学的	必要性	国内法
駐機中	着陸用	機械的	重要性	特別法
調査中	～	～	利便性 (程度)	(法律)
～中：搭乗中	～用：携帶用	～的：集中的	～性：金属性	～法：使用法
～用：滑走中	～的：建築用	～性：一時的	～性：動物性	～法：管理法
～的：飛行中	～性：無線用	～性：科学的	～性：植物性	～法：調査法
～性：駐機中	～性：着陸用	～性：機械的	～性：酸性	～法：解決法
～性：調査中	～性：～	～性：～	～性：～	～法：教授法
～機：飛行機	～時：着陸時	～者：科学者	～波：電磁波	～類：機械類
航空機	離陸時	調査者	衝擊波	計算機
～時：飛行機	～者：着陸時	研究者	マイクロ波	装置類
～者：航空機	～波：離陸時	管理者	～	ゲーム類
～波：飛行機	～類：着陸時	使用者	～	電子機器類
～類：航空機	～類：離陸時	関係者	～	～

③長い漢字熟語の構成(2)

どんなに長い漢字熟語でも、基本的には、以下の4つのパターンの組み合わせに分解することができます。 (→第4課要点② p.44)

- A. ■■ + ■■ : 2字熟語の組み合わせ
- B. ■ + ■■ : 2字熟語に接頭辞がついたもの
- C. ■■ + ■ : 2字熟語に接尾辞がついたもの
- D. ■■ + ■■ → ■■■ : 2字熟語の組み合わせから共通する字が省略されて、3字になったもの

例) 使用禁止 → A : 使用 + 禁止 (使用を禁止すること)

真犯人 → B : 真 + 犯人 (本当の犯人)

航空法 → C : 航空 + 法 (航空のための法律)

離着陸 → D : 離陸 + 着陸 (離陸と着陸をすること)

離着陸時使用禁止 → [(離陸 + 着陸) + 時] + [使用 + 禁止]

日本航空技術部次長 → [(日本 + 航空) + (技術 + 部)] + 次長

電子機器単独犯人説 → [(電子 + 機器) + (単独 + 犯人)] + 説

電波航法装置用 → [(電波 + 航法) + 装置] + 用

〈注意〉言葉の切れ目によってアクセントが変わることあります。

例) ローマ字で文章入力を行います。

「文章入力 (ぶんしょうにゅうりょく)」は一つの語で、中高のアクセントになります。「文章 (ぶんしょう) を入力 (にゅうりょく) します」のように別々の語として使うときのアクセントとは違っています。

例) ローマ字で各自入力を行います。

「各自 (かくじ)」と「入力 (にゅうりょく)」は、別々の語ですから、もとのアクセントのまま発音します。

④形声文字の音符(1)

次の下線の漢字には、同じ音読みを表す共通する構成要素（音符）があります。
 (→IKB Vol.1 R1, R2および本書のコラム 9 P.217~218を参照)

		音符	音読み
航空	反 <u>抗</u>	亢	[コウ]
搭 <u>乘</u> 口	管 <u>制</u> 塔	荅	[トウ]
磁石	慈 <u>悲</u>	茲	[ジ]
状況	兄 <u>弟</u>	兄	[キョウ]
疑問	擬 <u>聲</u> 語	疑	[ギ]
内藏	心 <u>臟</u>	藏	[ゾウ]
姿勢	次 <u>第</u>	次	[シ]
補正	捕 <u>手</u>	甫	[ホ]
日程	贈 <u>呈</u>	呈	[テイ]
電 <u>磁</u> 波	破 <u>壞</u>	皮	[ハ] *

※ただし、「皮」は、単独の漢字の音読みが [ヒ] であり、以下のように [ヒ] という、音符に使われる場合もあります。

5

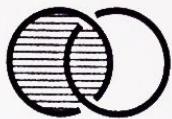
疲勞 表皮 被害 :皮 [ヒ]

第5課の学習漢字

航	携	狂	陸	御	搭	磁	波	況	疑	維
卓	藏	姿	勢	補	興	程	拾	推	犯	探

22

(索引p.284~288)



練習

【練習 1】 下線の熟語の語構成を考え、アクセントがどのように変わるか考えて、読みなさい。

1. 当機はこれより着陸態勢に入ります。
2. 事故原因を徹底調査しなければならない。
3. 集中警報システムに警報が複数表示された。
4. 警報の複数表示ができるように改良した。
5. 必要な方は資料請求の手紙を送ってください。
6. 巡航中に航空機が突然制御不能になった。
じゅんこう とつせん
7. 電子機器の単独犯人説には疑問がある。
8. 地上駐機中に油圧システムの不具合が起きた。
9. 高度維持装置に異常が発生した。
10. 姿勢補正システムの一部に異常が生じた。

【練習 2】 次の□の中に適切な漢字を下から選んで入れなさい。

機 法 波 中 時 用 性 的

1. 小型飛行□が太平洋上を飛行□に火災を起こした。
2. 家庭□のパソコンから出る電磁□が問題になっている。
3. この制御装置は、安全□を重視した設計になっている。
4. シートベルト着用サイン点灯□は、化粧室の使用をご遠慮願います。
てんとう けしうしつ えんりょ
5. 乗客には、離着陸□のシートベルト着用が義務づけられている。
6. 無線に雑音が断続□に混入した。

【練習3】次の□の中に適切な漢字を下から選んで入れなさい。

員 者 手 券 書 状 紙

1. 搭乗口で乗務 に搭乗 をお見せください。
2. ある航空関係 がまとめた報告 によれば、携帯機器と電磁波の関係はまだ不明であるという。
3. 手紙に来月のクラシックコンサートの案内 が入っていたが、招待 は入っていなかった。
4. そのテレビドラマの視聴 はみんな、真犯人がだれかを知りたがっていた。
5. 大きくなったら、バスの運転 か、銀行 になりたいと思っていた。
6. 古い新聞 の中に先生からいただいた推薦 が混ざっていた。

5

【練習4】次の下線の漢字の言葉を読みなさい。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. 親に <u>反抗</u> して <u>航空</u> 会社をやめた。 | 2. <u>搭乗</u> 口から <u>管制</u> 塔が見える。 |
| 3. <u>慈悲</u> 深い顔で <u>磁石</u> を渡した。 | 4. <u>兄弟</u> で <u>状況</u> を探る。 |
| 5. 「ぐるぐる」が <u>擬声語</u> かどうかは <u>疑問</u> だ。 | 6. <u>冷蔵庫</u> に鳥の <u>内臓</u> が入っている。 |
| 7. 一万円 <u>程度</u> の時計を <u>贈呈</u> した。 | 8. <u>財団</u> が研究の <u>材料</u> を探している。 |

【練習5】下の中から最も適切な言葉を選び、文を完成しなさい。

1. 携帯電子機器が航空機の機器を（ ）という説がある。
 { 疑う 狂う 狂わす 恐れる }
2. 問題の原因を（ ）みる必要がある。
 { 補って 探って 拾って 疑って }
3. （ ）お金は交番に届けなければなりません。
 { 補った 疑った 拾った 探った }
4. 搭乗中に電子機器を使うと、旅客機に異常が起こる（ ）がある。
 { 補い 疑い 恐れ 狂い }
5. 彼は友人を（ ）の目で見た。
 { 狂い 探し 拾い 疑い }

【練習 6】 文中の _____ に下の | } から最も適切な熟語を選び、その読みを書きなさい。

例) 国内線の飛行機は通常どおり 運航 している。

| 出航 欠航 運航 渡航 |

1. 成田空港では、台風のために _____ する便が相次いだ。
| 出航 欠航 難航 運航 |
2. JL305便にご _____ のお客様に、最終案内を申し上げます。
| 搭載 搭乗 着陸 離陸 |
3. 電磁波の _____ で、飛行機が制御不能になった。
| 状況 不況 影響 反響 |
4. 静電気が事故の原因だとする説もあるが、 _____ の域を出ない。
| 推定 推進 推論 推薦 |
5. 電子機器の単独犯人説に対しては _____ を投げかける声がある。
| 疑惑 疑問 問題 質問 |
6. 患者の家族は生命を _____ する装置の取り付けを断った。
| 制御 内蔵 搭載 維持 |
7. 小型コンピュータを _____ した家庭用電気製品が増えている。
| 制御 内蔵 搭載 維持 |
8. 彼はビートルズの _____ 的なファンだ。
| 狂喜 热狂 発狂 狂暴 |
9. 大統領のセクハラ _____ が高まっている。
| 疑惑 疑問 問題 質問 |
10. 娘の合格のニュースを聞いて、母親は _____ した。
| 热狂 発狂 狂喜 狂信 |
11. 子供のころ、よく友達と森へ _____ に行ったものだ。
| 探究 探偵 探検 探索 |
12. 最近は家族で _____ を囲むことが少なくなった。
| 食卓 円卓 教卓 卓上 |
13. その飛行機は _____ した直後に制御不能になった。
| 着陸 上陸 陸上 大陸 |
14. ラジオでスポーツの _____ 放送を聞く。
| 状況 実況 近況 戰況 |
15. あの人気が本当に犯人なのかどうか _____ に思う。
| 疑念 疑問 疑惑 質疑 |
16. 1989年に彼は博士 _____ を修了した。
| 過程 行程 日程 課程 |

17. 私は探偵小説や _____ 小説を読むのが好きだ。
 | 推理 推測 推定 推薦 |
18. 政府は国会に第2次 _____ 予算案を提出した。
 | 補習 補助 補正 補修 |
19. 身体に無理な負担がかかる _____ を続けていると、体調をくずす。
 | 姿勢 時勢 大勢 情勢 |
20. この町では、スポーツの _____ に力を入れている。
 | 興亡 興奮 振興 興味 |

【練習7】 次の漢字を使った一番よく使われると思う言葉を考えてみましょう。周りの日本人にも聞いてみてください。

例) 拾 → ^{しゅうとくよつ} _{ひろ} 捺得物／拾う

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 蔵 → | 2. 波 → | 3. 航 → |
| 4. 磁 → | 5. 維 → | 6. 携 → |
| 7. 御 → | 8. 疑 → | 9. 犯 → |
| 10. 推 → | 11. 搭 → | 12. 探 → |
| 13. 姿 → | 14. 狂 → | 15. 興 → |
| 16. 況 → | 17. 卓 → | 18. 陸 → |
| 19. 程 → | 20. 勢 → | 21. 補 → |

課題

1. 次の新聞記事（「日本経済新聞」1997年5月18日朝刊）を読み、後ろの質問に答えてみましょう。



乗客の電子機器が原因の可能性のある異常例(93年以降、国内)			
発生日	状況	不具合の内容	疑わしい携帯電子機器
93年4月	巡航中	高度維持装置の変化	ゲーム機器
4月	上昇中	飛行管理装置に入力したデータに不具合	CDプレーヤー
94年7月	巡航中	飛行管理装置に不具合	電卓内蔵ゲームかゲーム機器
96年5月	離陸滑走中	飛行モード表示に不具合	携帯電話
7月	巡航中	無線に雑音	パソコン
8月	地上駐機中	油圧システムの不具合の表示	デジタルカメラ
9月	巡航中	無線に雑音が断続的に混入	携帯電話
97年2月	巡航中	姿勢補正システムの一部に異常	CDプレーヤー
2月	巡航中	集中警報システムに警報が複数表示	CDプレーヤー

(1) 航空会社では、離着陸時にどのような電子機器の使用を禁止していますか。

(2) 航空振興財団は、どのような報告をしていますか。

航空機、携帯機器に弱い？

旅客機に異常を引き起こす恐れありとして、搭乗中に使用が禁止されている電子機器。最近も人気のゲーム機器「たまごっち」が離着陸時使用禁止のリストに加えられた。だが、研究が進むにつれ、乗客が持ち込む電子機器だけでなく、もともと機内にある照明などの電気機器や、静電気が異常の原因になるとの見方も出てきた。旅客機に異常をもたらし、パイロットを驚かせる真犯人は一体何なのか――。

航空会社が乗客に使用を禁止している機器は約二十。いずれも電磁波が旅客機に異常をもたらすためとされる。しかし、ある航空関係者は使用禁止リストに加えられたまごっちから「実は電磁波は出でない」という。航空振興財団が独自の実験をもとに最近まとめた報告書でも、機内で使用が制限されているヘッドホンカセットで電磁波が出ておらず、AMラジオやゲーム機器なども電磁波が計器類に影響を与えるほどではなかつたとしている。

事例は数多く

しては疑問を投げ掛ける声があ

「電磁波」に諸説 犯人探し、開始

静電気に疑いも

セイコーエプソンの樺崎厚志主任が唱えるのは静電気説だ。飛行中に換気のために機内に取り込んだ外気が、カーペットや座席などあらゆる場所を帯電させ、これが放電した時に生じる電界が計器類の誤動作の引き金になるという見方だ。同主任は実際に日本・欧州間を二往復して機内の静電気を測定。その結果、「一・三ば」の電界が静電気の放電で発生。持ち込んだメモリーの情報が、着陸後見てみると部反転して書き換えられていた」という。

これらの説に対して酒井忠一教授は「そもそも旅客機に影響を与えるのは乗客が持ち数多く報告されている。いずれも因果関係は明確でないが、異常例には携帯電話やパソコンのように電磁波が比較的強いものだけでなく、影響がないとみられたゲーム機器が疑わしいとの報告もある。可能性があると、自らの実験結果を踏まえて指摘する。

東京農工大学の仁田周士教授は「そもそも旅客機に影響を与えるのは乗客が持ち数多く報告されている。いずれも因果関係は明確でないが、異常例には携帯電話やパソコンのように電磁波が比較的強いものだけでなく、影響がないとみられたゲーム機器が疑わしいとの報告もある。可能性があると、自らの実験結果を踏まえて指摘する。

「をつけて防いでいる」というのが反論の根拠だ。

利便より安全

旅客機は、例えばジャンボ機なら無線通信用や電波航法装置用など二十本程度のアンテナがついており、不要な電磁波を拾う可能性が高い。

電波がかすかなはずの電子機器でも、九三年にニューヨークで着陸態勢に入った旅客機が乗客のCDプレーヤーからの電波による影響のため突然、突然、制御不能になり、あわや墜落寸前になった例がある。だから航空会社は「疑わしきは罰する」のが安全確保の基本」（日本航空）と、乗客の利便よりも安全性を重視する姿勢に摇らぎがない。

乗客の電子機器が旅客機に与える影響は、推論の域を出ない。このため、徹底調査を求める声もあり、運輸省も航

空機に異常を引き起こす恐れありとして、搭乗中に使用が禁止されている電子機器。最近も人気のゲーム機器「たまごっち」が離着陸時使用禁止のリストに加えられた。だが、研究が進むにつれ、乗客が持ち込む電子機器だけでなく、もともと機内にある照明などの電気機器や、静電気が異常の原因になるとの見方も出てきた。旅客機に異常をもたらし、パイロットを驚かせる真犯人は一体何なのか――。

航空会社が乗客に使用を禁止している機器は約二十。いずれも電磁波が旅客機に異常をもたらすためとされる。しかし、ある航空関係者は使用禁止リストに加えられたまごっちから「実は電磁波は出でない」という。航空振興財団が独自の実験をもとに最近まとめた報告書でも、機内で使用が制限されているヘッドホンカセットで電磁波が出ておらず、AMラジオやゲーム機器なども電磁波が計器類に影響を与えるほどではなかつたとしている。

事例は数多く

しては疑問を投げ掛ける声があ

ある。東京農工大学の仁田周士教授は「そもそも旅客機に影響を与えるのは乗客が持ち数多く報告されている。いずれも因果関係は明確でないが、異常例には携帯電話やパソコンのように電磁波が比較的強いものだけでなく、影響がないとみられたゲーム機器が疑わしいとの報告もある。可能性があると、自らの実験結果を踏まえて指摘する。

東京農工大学の仁田周士教授は「そもそも旅客機に影響を与えるのは乗客が持ち数多く報告されている。いずれも因果関係は明確でないが、異常例には携帯電話やパソコンのように電磁波が比較的強いものだけでなく、影響がないとみられたゲーム機器が疑わしいとの報告もある。可能性があると、自らの実験結果を踏まえて指摘する。

(3) 電子機器の単独犯人説に対する疑問の声には、どんなものがあるか、二つあげなさい。

(4) 日本航空技術部次長の意見は(3)の意見と同じか、また、その根拠は何か述べなさい。

(5) 下の□に適切な漢字を入れ、この記事の要約文を作りなさい。

旅客機に異常をもたらす原因としては、乗客が持ち込む□帶電子機器が考えられているが、それだけが□人ではないだろうという意見もある。機内の空調や照明のスイッチから発生する電□□や静電気なども□われている。

2. 次の漢字の言葉の読みを書きなさい。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. <u>航空振興財団</u> | 2. <u>高度維持装置</u> |
| 3. <u>姿勢補正システム</u> | 4. <u>不要な電磁波を拾う</u> |
| 5. <u>真犯人を推理する</u> | 6. <u>携帯電話の横に電卓がある</u> |

3. 次の文を適切な漢字を使って書きなさい。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. けいたいきき | 2. けいきを くるわす |
| 3. でんじはを ひろう | 4. はんにんの うたがいが ある |
| 5. こうくうきじこ | 6. えいきょうを あたえる |
| 7. とうじょうぐち | 8. せいめいを いじする そうち |
| 9. じょうきょう | 10. すいろんの いきを でない |
| 11. でんたくないぞう | 12. げんいんを さぐる |
| 13. りちゃくりくじ | 14. ひがいの ていどを ちようさする |

4. 次の漢字を辞書で調べて、最もよく使われると思う熟語を選び、例のように文を作りなさい。

例) 調 → 調査: 政府はこの問題について調査中である。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 維 | 2. 狂 | 3. 疑 | 4. 程 | 5. 犯 |
| 6. 探 | 7. 推 | 8. 携 | 9. 磁 | 10. 御 |
| 11. 波 | 12. 航 | 13. 卓 | 14. 搭 | 15. 姿 |
| 16. 陸 | 17. 藏 | 18. 勢 | 19. 補 | 20. 況 |
| 21. 興 | 22. 拾 | | | |